

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	合成石英ガラス
供給者の会社名称	AGC 株式会社
住所	東京都千代田区丸の内 1-5-1
担当部門	AGC エレクトロニクス株式会社 合成石英部
電話番号	024-959-5777
ファクシミリ番号	024-959-5778
推奨用途	半導体製造用光学部材及び治具、医療用光学用材料など
使用上の制限	脆性材料であり、強い衝撃力が加わらないこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

記載のない危険有害性は、区分に該当しない、或いは分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	無し
注意喚起語	無し
危険有害性情報	無し
注意書き	
【安全対策】	無し
【応急措置】	無し
【保管】	無し
【廃棄】	無し

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性: 情報無し

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 物質

化学名又は一般名	C A S 番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
			化審法・安衛法
非晶質シリカ(石英ガラス)	60676-86-0	≥99.9999%	情報無し

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	気分が悪いときは、眼科医の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	合成石英は不燃性であるが、可燃性の梱包材には、粉末、泡、炭酸ガス、水を噴霧のこと。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び適切な保護具を着用し、可能な限り風上から行う。	
予防措置	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8.ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上から作業する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	安全にできるなら漏洩を止める。 漏出物をできるだけ回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8.ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上から作業する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	非晶質シリカ(石英ガラス) 次の式により算定される値 $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ この式において、E 及び Q は、それぞれ次の値を表すものとする。 E 管理濃度 (単位 mg/m^3) Q 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (単位パーセント)
濃度基準値	情報無し
許容濃度	
国内規定	
非晶質シリカ(石英ガラス)	吸入性粉塵 $2mg/m^3$; 総粉塵 $8mg/m^3$
生物学的許容値	情報無し
設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。作業場所ではシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具	微粉末が発生する作業では、防塵マスクを着用すること。
手の保護具	必要に応じて、保護手袋(不浸透性、耐薬品等)を使用する。
眼、顔面の保護具	必要に応じて、保護眼鏡(安全メガネ、ゴーグル等)を使用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、保護衣服、安全靴(不浸透性、耐薬品等)を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色	無色透明固体
臭い	情報無し
融点/凝固点	1610℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報無し
可燃性	情報無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	情報無し
pH	情報無し
動粘性率	情報無し
溶解度	水に不溶 フッ化水素酸、アルカリ性水溶液に可溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	情報無し
蒸気圧	0 mmHg(20℃)
密度及び/又は相対密度	2.2
相対ガス密度	情報無し
粒子特性	情報無し
その他のデータ	揮発性: なし(室温)

10. 安定性及び反応性

反応性	塊の状態では乏しい。
化学的安定性	通常条件下では安定。
危険有害反応可能性	情報無し
避けるべき条件	加工や研磨時に生じる微粉末は、強酸化性物質との反応により爆発の危険性があるため注意のこと。
混触危険物質	加工や研磨時に生じる微粉末は、強酸化性物質との反応により爆発の危険性があるため注意のこと。
危険有害な分解生成物	情報無し

11. 有害性情報

急性毒性

経口:	情報無し
経皮:	情報無し
吸入:	情報無し
皮膚腐食性/刺激性	情報無し
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報無し
呼吸器感作性	情報無し
皮膚感作性	情報無し
生殖細胞変異原性	情報無し
発がん性	本物質の発がん性情報に関しては、ヒト、実験動物のいずれもないが、本物質が非晶質シリカに属することから、非晶質シリカに対する IARC 発がん性分類結果のグループ 3(IARC 68 (1997))が適用可能と考えられる。すなわち、本項は分類できないとした。
生殖毒性	情報無し
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報無し
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報無し
誤えん有害性	情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	情報無し
残留性・分解性	情報無し
生物蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し
オゾン層への有害性	情報無し

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
廃棄に関する情報	内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
対策	
国内規制がある場合の規制情報	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。

海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送: 航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報	
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	作業環境評価基準で管理濃度が定められた物質 非晶質シリカ(石英ガラス) (物の種類: 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん)
毒物及び劇物取締法(毒劇法)	非該当

16. その他の情報

参考文献	・ JIS Z 7252: 2019 ・ JIS Z 7253: 2019 ・ 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会) ・ ACGIH ・ メーカーSDS ・ 職場のあんぜんサイト
------	---

声明: 本 SDS は、現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意を払ってください。